

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3(重点事業のみ)

目標1 子どもの安心・安全を守ります

1-1. 子どもの権利を守るための相談及び救済窓口を充実します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績						計画(年度)		結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R2		
1	子どもオンブズパーソン (児童青少年課) ＜重点事業＞	子どもの声を聞き「子どもにとっていちばんいいこと」を一緒に考えて考える場所を設置する。	子どもオンブズパーソン(仮称)の設置(設置後の実施状況も含む)	検討	検討	準備	実施	継続	継続	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	子どもの権利部会を設置し、(仮称)子どもオンブズパーソンの基本的な考え方を整理した。次年度は、設置のための準備として、条例制定、場所の選定等を行う。課題としては、新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度に子どもの意見聴取ができなかったため、条例制定までにコロナ禍で実施可能な意見聴取を行うこと。また、場所の選定についても課題である。		
				検討	検討	準備	実施	継続	継続				子ども・子育て会議意見
2	虐待対応事業 (子育て支援課) ＜重点事業＞	子どもを虐待から守るため、児童相談所や民生・児童委員、警察署、その他関係機関とのネットワークを強化し、関係改善が必要な親子へのサポートなどを行う。	虐待相談件数(件)	615	維持	維持	維持	維持	維持	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	虐待相談件数(件) 1,091件 ケース検討会開催回数(回) 45回 虐待相談件数は前年度に比べ増加したが、新規相談件数は減じているため、継続案件が多かったものと思われる。 ケース検討会議は前年度に比べ減少したが、コロナ禍においても感染防止対策を行いながら、必要に応じて実施することができた。 虐待相談件数の増減で虐待が減っている増えているという評価にはなりづらいが、継続しての対応が必要となるものが多かったと考えられる。引き続き、関係機関との連携を密に、役割分担のもと、早期発見・早期対応に努める。		
			ケース検討会開催回数(回)	73	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増		子ども・子育て会議意見	虐待と言っても色々あると思います。具体例を子どもに知らせることで「もしかしたら自分はここに当てはまる。私も声を上げていいんだ」と気づける事も大事だと思います。子ども向けに伝え、次へ繋げることも防止の1つとして御検討いただきたい。子どもにフードドライブや子ども食堂の案内もしていただきたいと思います。「事業の内容」の説明文に「要保護児童対策地域協議会」の名称が入っていないのが気になりました。次期計画策定時に表記の御検討をいただけたらと思います。	

1-2. いじめ・虐待等の防止と早期発見を図ります

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績						計画(年度)		結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R2		
1	虐待防止啓発事業 (子育て支援課) ＜重点事業＞	子どもが相談できる窓口を周知するとともに、体罰などによらない子育てなどの相談を行う。また、要保護児童対策地域協議会での虐待防止マニュアルの活用や構成機関への巡回訪問を行う。	児童虐待防止キャンペーンの実施	実施	拡充	拡充	拡充	拡充	拡充	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	要保護児童対策地域協議会構成機関(市内幼稚園、市内認可保育所、市立小・中学校等)への巡回訪問回数(機関数) 64機関/64機関 児童虐待防止キャンペーンについては、例年の武蔵小金井駅頭・東小金井駅頭でのグッズ配布等に替え、新型コロナウイルス感染症予防対策として、市役所第二庁舎風除室スペースを活用し、啓発ポスター掲示やチラシ、リーフレットの配架、啓発グッズや子ども家庭支援センター案内のポケットティッシュを配置し実施した。多くの方に目にしていただき、リーフレット等手にとっていただくことができた。 巡回訪問では、新設の保育園を含めて訪問することができ、学校等には子どもが相談できるよう子ども家庭支援センターを案内するグッズを配布した。 次年度も、感染予防に努めながら、児童虐待防止の啓発に努めるとともに、関係機関を巡回訪問し、要保護児童対策地域協議会への理解・協力を働き掛け、児童福祉施設・学校等の連携を強化していく。		
			要保護児童対策地域協議会構成機関への巡回訪問回数(機関数)	45	拡充	拡充	拡充	拡充	拡充		子ども・子育て会議意見		

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3(重点事業のみ)

1-4. 普及啓発を推進し、子どもの権利がいかなる社会環境づくりを進めます

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績						計画(年度)						結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R2	
1	子どもの権利の広報活動 (児童青少年課) ＜重点事業＞	ホームページやリーフレット等による周知・広報を行う。また新たな方法についても検討する。	周知・広報の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容						市立小・中学校新一年生ヘリーフレットを配布した他、のびのび小金井つ子や保育園案内など市の広報媒体へ掲載。その他、子どもイベントを実施する団体を後援する際、チラシへの掲載協力を依頼した。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響で、子ども週間行事や市民まつり等イベント会場における広報活動は中止となった。 次年度は、子どもオンブズパーソン(仮称)の設置準備に伴うパブリックコメントや子どもの意見聴取等予定しているため、合わせて子どもの権利の周知の機会とするほか、青少年問題協議会においてコロナ禍における子どもの権利啓発リーフレットを発行する予定。	
				子ども・子育て会議意見													

目標2 子どものゆたかな体験と仲間づくりを支えます

2-3.子どもの居場所と交流の場を充実します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績						計画(年度)						結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R2	
1	子どもの居場所づくりの推進 (子育て支援課・児童青少年課) ＜重点事業＞	子どもの居場所に関するネットワークづくりを進めるとともに、子どもの居場所のあり方について関係者により継続的検討を行うことにより、子どもの居場所の推進体制を整備する。	子どもの居場所に関するネットワークづくり	—	実施	実施	実施	実施	実施	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容						小金井子育て・子育て支援ネットワーク協議会による、子どもが今の自分の気持ちでいきたいところを検索できる子どもの居場所サイト「えにえに」の情報サイト作成に当たって協力し、その広報に努めた。 子ども・子育て会議に子どもの居場所部会(子ども・子育て会議の一部の委員で構成)を設置し、子どもの居場所について議論した。 令和3年度においても、子どもの居場所部会では引き続き議論し、子どもの居場所に関するビジョンを市と共同で作成することを目指す。	
			関係者による子どもの居場所のあり方の継続的検討	—	実施	実施	実施	実施	実施	子ども・子育て会議意見							
		子どもの居場所のあり方の検討を踏まえ、子どもや保護者が気軽に立ち寄れる地域の居場所づくりを推進する。どの家庭も孤立せず、地域とつながるように、地域全体で家庭を支援する環境を整備する。	子どもの居場所づくりの推進	—	検討	実施	継続	継続	継続								
2	児童館事業 (児童青少年課) ＜重点事業＞	子どもの健全育成として、小学生対象のグループ活動などのほか、中・高校生事業、子育て支援、子育てグループの活動支援などについて、開館時間の延長も実行実施する。新たな児童館の整備を含めた児童館の在り方を検討する。	来館者数(人)	98,875	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容						来館者数(人) 51,840人 開館延長時の利用者数(人) 8,190人 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、令和2年4月4日(2館は4月4日及び4月11日以降)から5月31日まで閉館した。6月1日から段階的に開館を進めたが、感染対策のため前年度の半数以下の定員を設けたり、感染対策の取れない事業を中止した結果、来館者数は前年度から約6割にとどまった。 閉館中は、市HPで「おうちで児童館」ページを作成し、子どもがステイホームで楽しめるコンテンツを公開した。 次年度も人数制限等の感染対策が必要なことから、年度計画の目標達成が難しい状況ではあるが、流行状況を注視しつつ、子どもの居場所と交流の場として新たな方法も含めて検討、実施していく。	
			開館延長時の利用者数(人)	18,096	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	子ども・子育て会議意見						閉館中に子ども向け動画の配信や保護者への相談窓口開設など、子どもや家庭が孤立しないよう、コロナ禍でも出来ることを模索してくださったことはとても良かったと思います。 課題として場所の拡充を入れて欲しいです。現在中学校区に1つの児童館ですが、小学生は学区を超えると感じて通えないのが現状です。	

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3(重点事業のみ)

目標3 子どもを生み育てる家庭を支援します

3-1.経済的負担を軽減します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績						計画(年度)		結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R2		
1	施設等利用給付の上乗せ (幼稚園) (保育課) ＜重点事業＞	私立幼稚園等に在籍する子どもの保護者の負担軽減をさらに図るため、上限額に上乗せして給付を行う。	受給者数(人)	18,063	維持	維持	維持	維持	維持	維持	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	<ul style="list-style-type: none"> 受給者数(人) : 17,895人 令和元年度については、幼児教育・保育の無償化が開始となった10月から3月の受給者数(都の上乗せ分の受給者)を算定していたが、今年度については、令和2年4月から令和3年3月の受給者数(都または市の上乗せ分の受給者)を算定しているため、前年度と比べると受給者数自体は大きく増加している。 受給資格者における受給者数の割合(%) 100% 施設等利用給付認定を受けている児童の保護者全員に対し、負担軽減を実施することができた。 	
			受給資格者における受給者数の割合(%)	100.0	維持	維持	維持	維持	維持	維持			
			子ども・子育て会議意見										
2	施設等利用給付の上乗せ (認可外保育施設) (保育課) ＜重点事業＞ □	一定の基準を満たす認可外保育施設に在籍する子どもの保護者の負担軽減をさらに図るため、上限額に上乗せして給付を行う。	受給者数(人)	2,984	維持	維持	維持	維持	維持	維持	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	<ul style="list-style-type: none"> 受給者数 2,941人(4月～3月分) 受給資格者における受給者数の割合 100% 受給者数 年間での割り返しや対象施設の増減を考慮すると、前年度実績より受給者数は増となった。 受給資格者における受給者数の割合 受給資格者のうち、施設等利用給付の上乗せを受給しなかった者は、基本部分で保育料が無償化となったためであり、受給資格者全てに対し、負担軽減を実施することができた。 引き続き事業周知に努めるとともに、さらなる保護者負担軽減についても検討する。 	
			受給資格者における受給者数の割合(%)	100.0	維持	維持	維持	維持	維持	維持			
			子ども・子育て会議意見										
4	義務教育就学児医療費助成制度の拡充 (子育て支援課) ＜重点事業＞	病気やけがにより、健康保険が適用される医療行為や薬剤提供を市内在住の小中学生が受けた場合に、自己負担すべき額から通院一回あたり200円を控除した額を助成する。	所得制限の段階的廃止の進捗状況	検討	準備	拡充 (小学校4年生～6年生)	準備	拡充 (中学校1年生～3年生)	維持	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	令和3年10月1日施行の小4～小6所得制限廃止に向けて(令和元年10月に小1～小3廃止済)、条例改正等の例規整備を行った。その他、システムの調整、広報媒体や申請勧奨の在り方の検討等、令和3年度にスムーズに事業を実施するための事務的な準備を進めた。		
			子ども・子育て会議意見										

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3(重点事業のみ)

3-2.母子保健事業を充実します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)						結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R2		
1	母子保健健康相談事業 ①乳幼児健康相談 ②乳幼児健康相談 ③出張健康相談 (健康課) ＜重点事業＞	育児不安の解消を図るため、保健師等に気軽に相談できる場を確保し、育児支援を行う。	乳幼児健康相談利用者数(人)	914	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	乳幼児健康相談利用者数(人)253人 出張健康相談利用者数(人)345人 新型コロナウイルス感染症の影響で、主に緊急事態宣言の期間中乳幼児健康相談ならびに出張健康相談を中止としたため利用者数が減少した。また両事業において予約制としたことや、感染予防策を徹底し、実施したことにより、1会場あたりの来所可能者数を制限したため利用者数が減少した。従来予約を入れられていたが止む無く緊急事態宣言下等の状況により来所が難しくなった母子に関して、電話フォローを実施した。 次年度についても新型コロナウイルス感染症の影響で実施状況が左右されやすい可能性が高いが、感染予防策を徹底したうえで本事業を実施することや止む無く実施できない場合には電話や必要時訪問フォローをすることで母子の健康につなげる。	
			出張健康相談利用者数(人)	1,107	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増			
			子ども・子育て会議意見	前回なかった電話でのフォローができることになったのは、工夫されて良いと思います。								
11	産後ケア事業 (健康課) ＜重点事業＞	出産直後の母子に対して心身のケアや育児サポート等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制を確保する。	産後ケア事業延べ利用者数(人)	—	実施	漸増	漸増	漸増	漸増	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	産後ケア利用者数実数:8人 デイ利用者延べ数:16人 宿泊利用者延べ数:7人 令和2年10月から開始した事業であり、現在周知に力を入れている事業の一つである。決まった数名の産後ケア利用者が何回も利用していた状況である。利用者のアンケートでも利用満足度は高い状況である。 次年度に向けて、新型コロナウイルス感染拡大により、感染拡大防止に留意しながら、周知を行っていく必要がある。妊婦面談実施により配布されるこども商品券を産後ケアで利用できるようにしたため、合わせてこども商品券利用可能との周知をより図っていく必要がある。産後ケア利用年限拡大については検討を進める必要がある。	
			子ども・子育て会議意見									

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3(重点事業のみ)

12	子育て中の保護者グループ相談 (子育て支援課) ＜重点事業＞	育児に強い不安や困難を感じている保護者を対象に、子育てや自分についての思いを話したり、必要な情報や支援を見つける場を関係機関と連携し、提供する。また、育児に関する日ごろの悩み相談や保護者同士の交流を必要とする保護者の継続支援を行う。	育児不安親支援事業延べ参加人数(人)	15	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	<p>育児不安親支援事業延べ参加人数(人) 28人 お母さんグループ延べ参加人数(人) 61人</p> <p>育児不安親支援事業については、前年度に引き続き定着した参加者で実施できた。話す内容が深まり、不安軽減の場になっている。</p> <p>お母さんグループについては、新型コロナウイルス感染症予防対策としてひろばを臨時閉所したこともあり、利用者数は減少したが、子どもと離れ、同じ立場の大人同士で交流できる機会が参加者のよりどころとなっている。なお、臨時閉所中は、参加申込者に電話をするなど、必要に応じ相談対応を行った。</p> <p>グループ活動が、大人同士の交流を通じ、育児に関する不安や負担の軽減につながっているため、引き続き実施をしていく。新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら、安心してグループ活動が行えるよう引き続き努めていく。</p>
			お母さんグループ延べ参加人数(人)	127	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増		
子ども・子育て会議意見											

3-3.子育てに関する相談・支援、情報提供、学習機会を充実させ、支援を強めます

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	計画(年度)						結果(年度)	
				実績 H30	R2	R3	R4	R5	R6	R2	
1	子育て情報の提供 (子育て支援課) ＜重点事業＞	市報、ホームページ、子育てに関する総合冊子を活用するほか、民間の子育て支援サイト「のびのびのー！」と連携し、子育て情報の提供を行う。	市報、ホームページ、子育てに関する総合冊子を活用した情報提供	実施	継続	継続	継続	継続	継続	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	<p>「みんなで子育て応援ブック のびのびこがねいっ子2020」を発刊し、子育てに関する情報提供を行った。また、小金井子育て・子育て支援ネットワーク協議会による、子どもが今の自分の気持ちでいきたいところを検索できる子どもの居場所サイト「えにえに」の情報サイト作成に当たって協力し、その広報に努めた。小金井子育て・子育て支援サイトへのバナー広告掲載により、広告収入を得ることとなり、小金井子育て・子育て支援ネットワーク協議会のサイト運営の自主財源確保に努めた。</p> <p>次年度においても「みんなで子育て応援ブック のびのびこがねいっ子2022」の発刊に向けて作業を行うとともに、子育てに関する情報提供に務める。</p>
			子育て支援サイト「のびのびのー！」との連携	実施	継続	継続	継続	継続	継続		
子ども・子育て会議意見											
2	子育て総合相談 (子育て支援課) ＜重点事業＞	子ども家庭支援センターを窓口とした、子どもや子育てに関する総合相談、情報提供。関係機関と連携し、他の支援機関や子育て支援ネットワークづくりに繋げる。	相談件数(件)	3,087	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	<p>総合相談延件数(件) 4,414件</p> <p>前年度に引き続き、増加した。虐待相談を含む養護相談では、令和元年10月から始まった児童相談所からの送致もあり増加していることと、令和2年度は新型コロナウイルス感染症流行があり、家庭内での生活が増え、それによるストレスや新たな課題から、養育に困難を抱える相談の増加が目立った。前年度同様、小学校高学年から高校生までの親子関係に関する継続相談が多かった。</p> <p>いつでもだれでもが相談できる窓口としての周知を促進し、子育ての悩みや不安の軽減の場、子どもが相談できる場になるよう、丁寧な対応と必要時の関係機関連携を推進していく。</p>
			子ども・子育て会議意見								

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3(重点事業のみ)

目標4 子育て、子育てに困難を抱える家庭を支援します

4-1.ひとり親家庭を支援します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績						計画(年度)		結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R2		
1	ひとり親家庭へのホームヘルプサービス派遣 (子育て支援課) ＜重点事業＞	20歳未満の子どもがいるひとり親家庭で、家事または育児などの日常生活に支障がある場合、ホームヘルパーを派遣する。	周知や広報等の実施	実施	継続	拡充	拡充	拡充	拡充	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	利用世帯数(世帯) 3世帯 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、保護者の在宅時間が増加したこと、家族外の人との接触を控える動きがあったことから、利用数も例年より減少した。 次年度は市報や市ホームページだけでなく、Twitterの活用も行っていく。		
			利用世帯数(世帯)	5	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増			子ども・子育て会議意見	

4-2. 特別な配慮が必要な子ども(障がい児等)と家庭を支援します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績						計画(年度)		結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R2		
1	認可保育所での特別支援保育 (保育課) ＜重点事業＞	公立保育所および民間保育所の全園で、可能な限り特別な配慮が必要な児童(医療的ケア児を含む)の保育を行う。	公立保育園の障がい児入所人数(人)	13	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	公立保育園の障がい児入所人数(人) 27 民間保育園の障がい児入所人数(人) 39 公立保育園では5園全園で実施、民間保育園では18園で実施し、それぞれ受入数が増加した。 引き続き、拡充を検討する。		
			民間保育園の障がい児入所人数(人)	28	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増			子ども・子育て会議意見	
2	学童保育所での障がい児保育 (児童青少年課) ＜重点事業＞	学童保育所全所で障がい児の保育を行う。	希望人数に対する受入者数の割合(%)	100	維持	維持	維持	維持	維持	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	希望人数に対する受入者数の割合(%)100% 障がいのある児童も他の児童と同様、入所基準を満たした場合は希望する学童保育所へ入所する体制となっていることから、本事業は維持することができている。 (次年度に向けての課題)引き続き、入所基準を満たした児童の学童保育所への入所を継続したい。		
			子ども・子育て会議意見										

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3(重点事業のみ)

3	障がい児の緊急・一時預かり(保育課) ＜重点事業＞	保護者の病気などで障がいのある子どもの一時的な預かりを必要とした場合、保育所や障がい者の施設で一時的に預かりを行う。	保育所での障がい児の緊急・一時預かりの実施	検討	検討	検討	検討	検討	検討	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	一時保育の職員体制等の理由により、実施することは困難であるが、児童発達支援センターにおいて実施することを引き続き検討する。
										子ども・子育て会議意見	

目標6 地域の子育て環境を整えます

6-1.地域の子育てネットワークを整えます

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績		計画(年度)						結果(年度)	
				H30	R2	R2	R3	R4	R5	R6	R2		
1	子育て支援ネットワーク(子育て支援課) ＜重点事業＞	保育所、幼稚園、子育てサークル、NPOなどの子育て支援団体との協働によるネットワークをつくり、相互援助と情報発信を行う。	子育て・子育て支援ネットワーク協議会参加団体数(団体)	68	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	子育て・子育て支援ネットワーク協議会参加団体数(団体)94団体 小金井子育て・子育て支援ネットワーク協議会については、様々な機会に積極的に呼びかけを行うことにより、加入団体数が順調に伸びており、目標を達成できた。なお、ネットワーク協議会の関連事業については、市職員も積極的に参加し、相互理解に努めるようにした。また、各団体の活動・取組状況については、子育てメッセこがねいや小金井子育て・子育て支援サイト等から把握に努めたところである。 要保護児童対策地域協議会については、参加機関の拡大には至らなかったが、開設した民間保育園を含め関係機関を巡回訪問するなど地域ネットワークの連携強化に努めた。 次年度においても、小金井子育て・子育て支援ネットワーク協議会が安定的、継続的な活動を行えるよう、引き続き補助金を交付する。また、市内の団体加入促進を始め、活動の広報等支援を行っていく。	
				子ども・子育て会議意見									

6-3.地域の公共施設の活用を進めます

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績		計画(年度)						結果(年度)	
				H30	R2	R2	R3	R4	R5	R6	R2		
1	子育てに配慮した公共施設の改善(子育て支援課) ＜重点事業＞	子連れで外出しやすいよう公共施設の環境を整備する。市の施設については、おむつ替え、授乳スペースを設置する等、子育てに配慮する。	赤ちゃん休憩室事業の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	移動式赤ちゃん休憩室貸出件数(件) 0件 新型コロナウイルス感染症の影響により、乳幼児を対象に含むイベントが見合わされ、貸し出しに至らなかった。 引き続き、機会に応じて貸し出し、事業の実施を継続する。	
			移動式赤ちゃん休憩室貸出件数(件)	9	漸増	漸増	漸増	漸増	漸増	子ども・子育て会議意見			